

♪～大豆多収の鍵はマメな雑草・病虫害防除管理です～♪

# 両沼豆づくり情報 第3号 (通算第3号)

(令和2年8月4日)

発行：会津農林事務所会津坂下農業普及所 (電話0242-83-2112)

〃 金山普及所 (電話0241-54-2801)

J A 会津よつば各営農経済センター



## 1 大豆の生育概況

6月始めの播種で少雨によりやや出芽の遅れがありました。出芽概ね良好でした。

天候は6月下旬より日照不足が続き、7月上旬から多雨傾向で特に7月下旬は豪雨もありました。また、気温は7月中旬よりやや低温傾向となっています(図1)。

そのような天候下で、農業総合センター会津地域研究所の作柄解析試験の大豆の生育が標播、晩播ともに草丈、主茎長、分枝数が平年に劣り、乾物重も平年に劣っていますが、開花期はほぼ平年並となっています(表1)。

管内の大豆の生育もやや短茎傾向にあります。開花は始まっています。雑草が目立つほ場もありますが、今後、天候の回復も期待されますので、手取り除草や病虫害防除を行い、収量と品質の向上を目指しましょう。

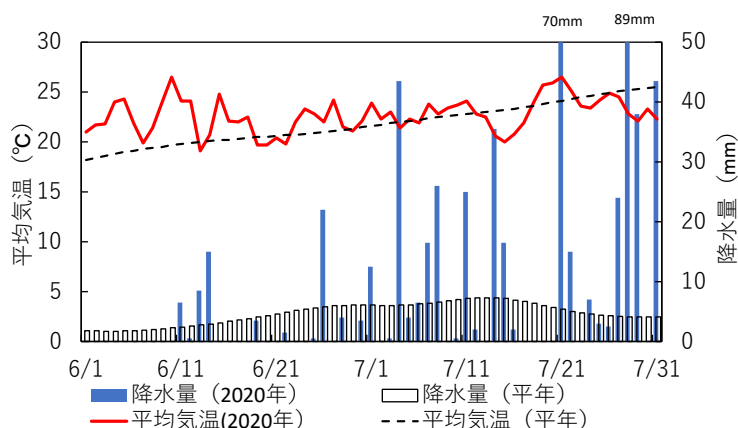


図1 生育期間の気温と降水量の推移 (AMeDAS若松)

表1 作柄解析試験における生育 (農業総合センター会津地域研究所：会津坂下町)

品種名		播種期 (月・日)	出芽期 (月・日)	開花期 (月・日)	生育調査(7月20日)				
					草丈 (cm)	主茎長 (cm)	主茎節数 (節)	分枝数 (本)	乾物重 (g/m <sup>2</sup> )
あやこがね	本年	6/1	6/12	7/25	70.1	41.6	11.8	1.5	145
	標播 前年	5/30	6/8	7/25	69.2	41.2	10.6	2.3	154
	標播 平年	5/31	6/9	7/24	72.0	45.8	12.0	2.3	174
	標播 平年差比	1	3	1	97	91	98	65	83
あやこがね	本年	6/19	6/26		41.7	22.3	7.0	0.0	67
	晩播 前年	6/20	6/25	8/3	47.7	25.6	6.9	0.3	73
	晩播 平年	6/20	6/26	8/3	45.0	25.7	7.3	0.1	71
	晩播 平年差比	-1	0		93	87	96	0	94

## 2 当面の技術対策

### (1) 雑草防除

大豆の草丈より長く伸びたイネ科、タデ科、キク科、アカザ科などの雑草は、8月中に一度手取り除草を行いましょう。また、強雑草の帰化アサガオ類が発生しているほ場もありますので、よく観察し早急に除去しまししょう。

## (2) 病虫害防除

### ア 紫斑病対策

開花期後20～40日間に1～2回、莢に十分薬剤が付着するように散布しましょう。粉剤の場合は、ホースで大豆の葉をこすりながら散布します。降雨が多い場合は2回防除しましょう。また、多湿条件で発病が多くなるので、排水をよくしましょう。

### イ 害虫対策

#### (ア) カメムシ類

ホソヘリカメムシ、イチモンジカメムシ、ブチヒゲカメムシが主な加害種で、大豆畑には開花期以降飛来し、収穫期まで加害します。被害が大きいのは莢伸張期～子実肥大期で、吸汁された子実は、変形、変色した子実になります。防除適期は莢伸張期～子実肥大期です。

#### (イ) マメシクイガ

成虫は体長12mm前後の、翅を開いた長さ25mm前後の小型の蛾。莢の内縫線付近から侵入した幼虫が発育中の子実を激しく食害します。薬剤防除適期は、開花期30日後の子実肥大始期にジアミド系薬剤が合成ピレスロイド系で防除を行い、さらにその10日後に防除を行うと効果が高まります。

#### (ウ) フタスジヒメハムシ

体長は3～4mmで、体色は黄茶色で一對の黒条があります。葉や未熟莢を食害し、莢表面が食害されると子実に黒斑が生じます。子実肥大期に防除を行いましょう。

表2 主な紫斑病・害虫同時防除薬剤

農薬名	適用病虫害	107-ル当たり 使用量	使用時期	使用方法	使用 回数
スミチオンベルク ート粉剤DL	紫斑病 カメムシ類 マメシクイガ	3 kg	開花期～若莢期 (収穫21日前ま で)	散布	4
Zボルドートレボ ン粉剤DL		3～4 kg	収穫14日前まで		2

図2 両沼地方の病虫害防除適期(平年値)

	7/25	8/5	8/6	8/10	8/22	8/30	9/7
	開花始	結莢始め	莢伸長前期	莢伸長後期	子実肥大前期	子実肥大中期	子実肥大後期
紫斑病		-----	-----	-----	-----	-----	-----
カメムシ類		-----	-----	-----	-----	-----	-----
マメシクイガ				-----	-----	-----	-----
フタスジヒメハ ムシ				-----	-----	-----	-----

※ ----- 防除効果の高い時期

**ノーミス、ノー事故、農作業！ 水分・塩分補給で熱中症を防止しましょう！**

☆農薬は使用基準・使用方法に従い正しく使用しましょう。

☆自然災害対応および所得安定のために、農業共済・収入保険に加入しましょう。